

# 村上組社内報

社内報  
第8号

(平成25年11月15日)

murakamigumi In-house magazine

## 社員旅行

～東北～

今年の社員旅行は、2泊3日の東北旅行。(6月21日・22日・23日)  
新入社員の皆さんも含め部署など関係なく、それぞれ親睦を深める  
ことができたのではないのでしょうか。



### 6/21 初日は山形県の蔵王へ。

山形県の蔵王でお釜見学をしました。



#### 宿泊

かみのやま  
温泉

恒例の余興では、各グループが競って出し物を披露。大いに盛り上がりました。



新入社員の  
紹介も  
行われました。



余興  
順位

1位 第3グループ  
2位 第2グループ  
3位 第1グループ

### 6/22 2日目は「観光組」と「ゴルフ組」に分かれて旅行を楽しみました!

#### 観光組 関山・中尊寺と毛越寺

観光コースは、岩手県にある関山・中尊寺と毛越寺の観光に行きました。



#### ゴルフ組 蔵王カントリークラブ

蔵王山麓南西の裾野に広がる蔵王カントリークラブで、ゴルフを楽しみました。



優勝した  
渡辺さん

ゴルフコンペ  
結果発表

1位 渡辺さん  
2位 綾野課長  
3位 山原さん

#### 夕食

仙台  
ビール園

夕食は、宮城県にあるサッポロビール仙台ビール園に行き、ジンギスカンを堪能しました。



### 6/23 3日目は日本三景といわれる松島へ。松島五大堂や瑞巖寺に行きました。

遊覧船に乗り、かもめにエサをあげたり、松島も間近で見ることができました。



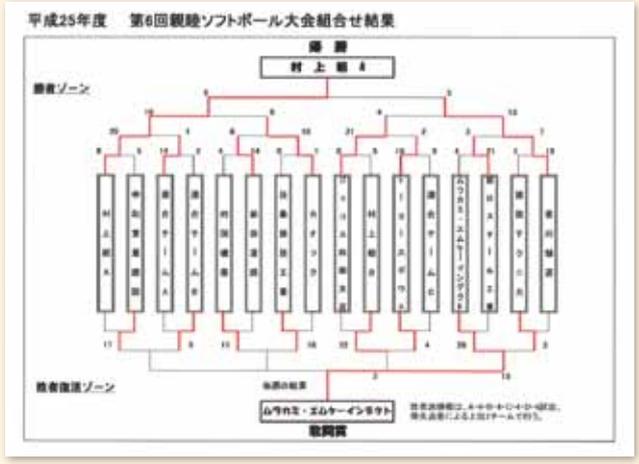
現場視察  
南蒲生

南蒲生の現場の  
視察にも行きました!



# 第6回 村上組安全衛生協力会主催 親睦ソフトボール大会

10月20日、東部運動公園で村上組安全衛生協力会主催の第6回親睦ソフトボール大会が開催されました。雨の中の大会となりましたが、多くの協力会社のみなさんに参加していただきました。決勝は村上組Aと、香川舗道(株)の戦い。接戦の末、村上組Aが勝利しました。村上組Aは、なんと6年連続優勝という快挙を達成しました!



開会式

▲ 村上組 社長によるあいさつ



選手宣誓

▲ 前田道路(株)による選手宣誓



始球式

▲ 村上組 社長による始球式



## 決勝戦 村上組A vs 香川舗道

▲ 6-5で村上組Aが勝利しました!

優勝村上組A

## 私たち結婚しました



土木部  
白井 淳さん・  
代里子さん  
平成25年6月30日 入籍

## 人事のお知らせ

### 昇格(10月19日付)

藤川 芳輝	取締役基礎工事部長
有馬 政広	取締役営業部長
大林 裕史	執行役員技術部長

### グループ会社新役員(8月31日付)

小西 正令	常務取締役(株)ムラカミ
-------	--------------

### 退職

岩部 光隆	(平成25年7月14日付)※普通寺支店長で継続勤務
岡田 博	(平成25年7月29日付)※総務部長で継続勤務
原 利庸	(平成25年9月30日付)

## 第2回 村上組OB会 平成25年7月2日 JRホテルクレメント高松

7月2日、JRホテルクレメント高松(飛天の間)にて開催された、第2回村上組OB会。旧知を温める楽しい会として、昨年より行なわれています。今年は、会長夫妻を含め総勢36名が出席。昔話に花が咲き、大いに懇親を深めました。会の最後にはOB会会長の選出があり、会長に岡野上様(元常務)、副会長に平田様(元常務)が選出されました。



## 労務安全部より



視察して、優良現場に共通している風土をみいだそうとしたことがあったが、風土は現場毎にみな異なっており、共通項を探すのは困難であった。

例えば、規則を守らなかった作業員を朝礼で名指して批判する所長、また散らかっている箇所を1人率先して黙々と掃除をする所長もいた。歩き回って不安全行動を見つけて注意する所長もいれば、作業員が快適に作業できるようにエアコンや冷水器の設置を積極的に進める所長もいた。厳しい風土、思いやりの風土、安全のための整理整頓が無言で実践される風土、取り締まりの

## 建設現場の風土に及ぼす所長の役割(某医科大学講師の記述より)

風土など、いろいろなパターンの風土が存在した。どの風土がなければ現場の安全が確保できないというものではないようである。

しいて一つ共通点をあげるとすれば、『徹底されていること』であった。整理整頓や、不安全行動する作業員を見かけたら注意することが重要であるという声はどの現場でも聞かれた。しかし優良現場といわれる現場では、それらが特に徹底されている印象を受けた。外からは見えない部分まで掃除が行き届いている。安全風土は、“こうでなければならない”というような唯一の形の決まったものではないように思われる。パターンはいくつもあり、どれも多かれ少なかれ、どこの現場でも見られるものであるが、安全で優良な現場といわれる現場では、所長の強い信念のもと、現場の方針・現場の風土として徹底しており、それがそこで働く作業員全員に浸透しているのではないかと考えられる。

※ 風土:人間の文化の形成などに影響を及ぼす精神的な環境 醸成:ある状態・気運などを徐々に創り出すこと

新工法  
ご紹介

OMライニング工法

〔NETIS登録番号〕  
HR990083-A

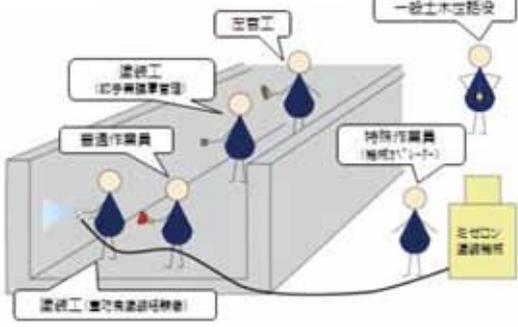
OMライニング工法は、コンクリート面に強靱な防水被膜を短時間で形成し、水路の供用年数延長を目的とした水路保護・補修(改修)工法です。OMライニングとは、無溶剤型特殊ポリウレタン樹脂塗料ミゼロンを主体としたライニング層。コンクリートの損傷、劣化作用(物理的・化学的要因)を遮断し、強靱な塗膜で保護します。

**特徴**

- コンクリートの劣化速度を遅らせ、機能を保持する。
- ひび割れ亀裂、目地部からの漏水を防ぐ。
- 摩擦係数が小さい(塩ビパイプと同等)ので、水の流れがよくなる。

作業者配置

塗装間隔24H以内の重ねの制約があるため、1日毎の作業工程が無難



ライニング工 上塗り  
ミゼロンS-100/A-1000を専用吹付機にて吹付ける



ライニング工 下塗り  
ミゼロンシーラーをローラーにて塗布(塗布回数1~2回)



下地処理 乾燥  
ガスバーナーにて、強制乾燥



下地処理 洗浄  
ウォータージェットにて、コンクリートの色が変わるまで洗浄



専用塗装機・コンプレッサー・発電機



完成  
反応遅延硬化型(指触乾燥30~1H)ならではの特殊工法



補修  
吹付け塗料を半硬化の状態にて、コテ又はゴムベラにより凹を平滑にする



膜厚管理  
ウェットゲージで膜厚管理

鶴尾第3雨水幹線工事

現場見学会



- 平成25年4月7日
- 高松市松並町現場事務所前

11月1日、鶴尾第3雨水幹線工事・現場見学会が開催されました。当日は、市役所や企業、地元自治会から50名を超えるたくさんの参加があり、当現場や工法への関心の高さがうかがえました。

この工事は、治水対策用として進められている雨水幹線工事で、狭い場所などでの施工を可能にするオープンシールド工法を用いています。作業中の現場は、滅多に見ることのできないものなので、今回の見学会は、多くの方に工法や現場への理解をいただいた貴重な機会となりました。



施工状況見学



オープンシールド掘進機



開会挨拶



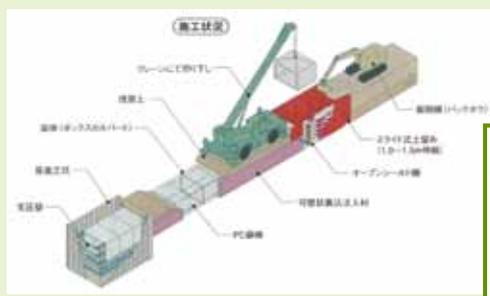
概要説明

オープン  
シールド工法

〔NETIS登録番号〕  
KT990231-A  
〔特許出願番号〕  
特許第3923973号

オープンシールド工法は、オープンシールド機を使用し、函渠や開渠を地中に埋設する工法です。特に、家屋が密集した狭い場所での水路や河川の改修、軟弱地盤・高地下水位での施工、重要施設(鉄道・国道・橋脚・铁塔等)に近接した施工、工事用地等がとれない場所での急速施工を得意とする工法です。

裏込注入  
タイプ  
(NOSI型)



# 現場紹介

## 土木部

### 県道田面富田西線 道路維持修繕工事

この工事は、2012年に地すべり崩壊を起こした法面を、最上部から再び掘削切土し、法枠により保護すると共に、グランドアンカーにより補強する法面工主体の道路維持修繕工事です。県道沿いの法面のため、終日片側交互通行規制を実施して切土防護柵を設置。地上20m上方から重機掘削するために、約2,500m<sup>3</sup>にもおよぶ仮設盛土を行っています。高盛土の上での重機作業、傾斜地上での法面作業など「交通災害の防止」及び「墜落・転落災害の防止」については常に気を配る必要があります。

これから工事終盤に入り、本来の現道上での作業が主になっていきますが、交通災害には十分注意し、ゼロ災無事故完工を目標に努力していきます。市街地から外れた閑静な山間部の小さな現場ですが、自然豊かで空気おいしいです。



現場全景



アンカー工法 (KPアンカー)



削孔・検尺状況



現場代理人: 瀬尾哲司

## 基礎土木部

### 枝川西高架橋 下部第3工事

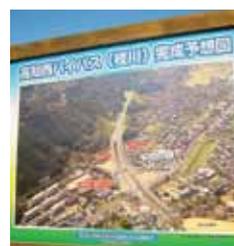
この工事は、高知西バイパス建設における、枝川西高架橋建設のための橋脚基礎杭工事です。(テクノックス社=ガンテツパイル工法)

高知西バイパス建設は、現道(一般国道33号)で発生している慢性的な交通渋滞の解消や、路面冠水地域を避けた常時通行可能な道路の確保を実現して、沿道環境の改善と利便性の向上を目的としています。最後まで無事故で終了できるように、全員でがんばっています。

●φ1,000mm L=13.5~22.0m N=24本



施工状況写真



工事完成予想図



現場代理人: 松前朝彦

## 解体部

### 丹生小学校校舎 解体工事

この工事は、東かがわ市の丹生小学校廃校に伴い、旧校舎建物を解体する工事です。住宅に囲まれた作業環境なので、騒音や振動、第三者災害には、細心の注意と気配りをして施工に望んでいます。また、近隣住民の車両の往来が多いため、交通災害にも十分注意して作業を進めています。

現在は、建物基礎解体施工中です。最後まで無事故で引渡しできるよう、管理していきます。



解体工事現場全景



基礎撤去状況



現場代理人: 杉浦浩文



杭撤去前状況